

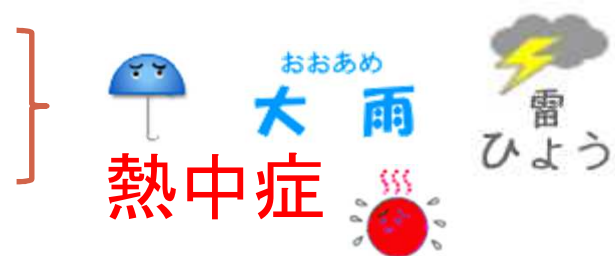
自然災害について

平成○●年□月△日 ▲◇小学校
鳥取地方気象台

季節ごとの現象

春から夏

- ⇒ 梅雨前線、台風
- ⇒ 夕立（入道雲）
- ⇒ 猛暑



秋から冬

- ⇒ 台風、秋雨前線
- ⇒ 強い寒気

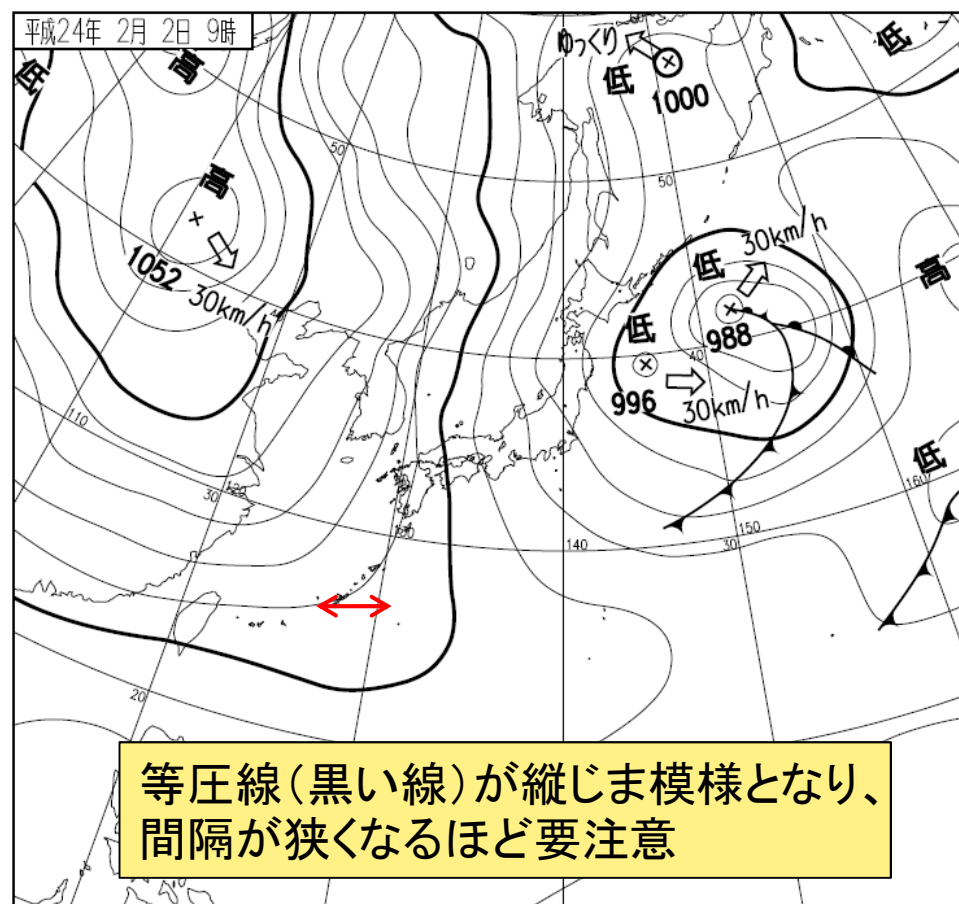


大雪について



2012年2月2日(木曜日)の
鳥取市内の様子(職員撮影)

冬型（ふゆがた）の気圧配置

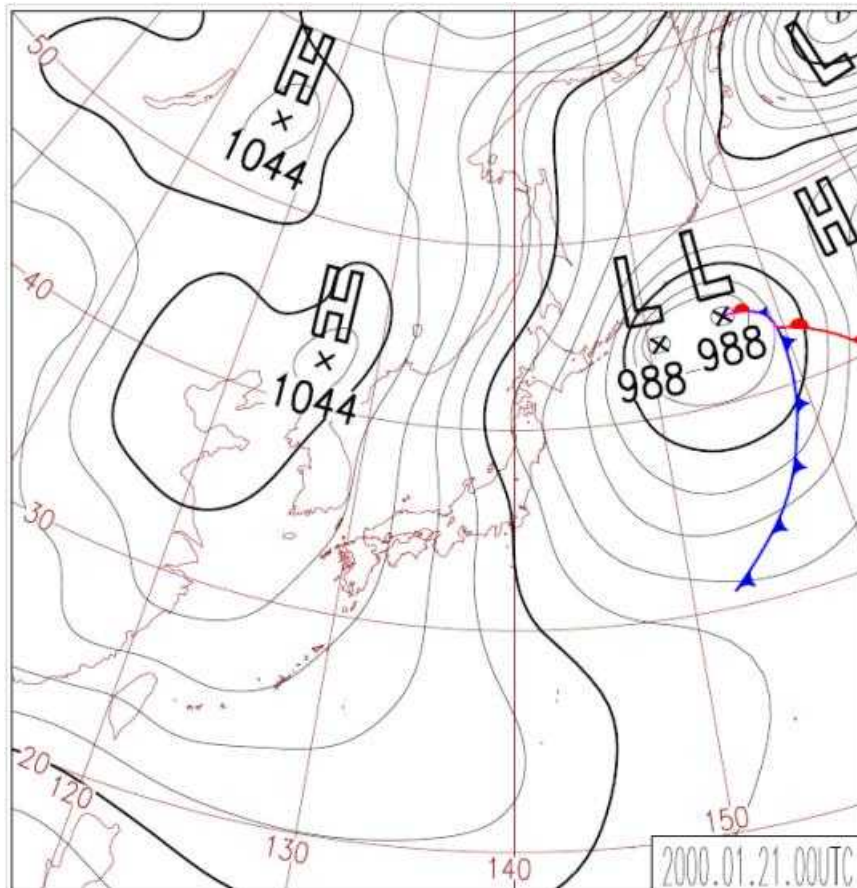


冬の代表的な気圧配置は、シベリア付近に高気圧、北海道の東に低気圧がある**西高東低**の**冬型の気圧配置**（日本列島をはさんで、西に高気圧、東に低気圧）です。

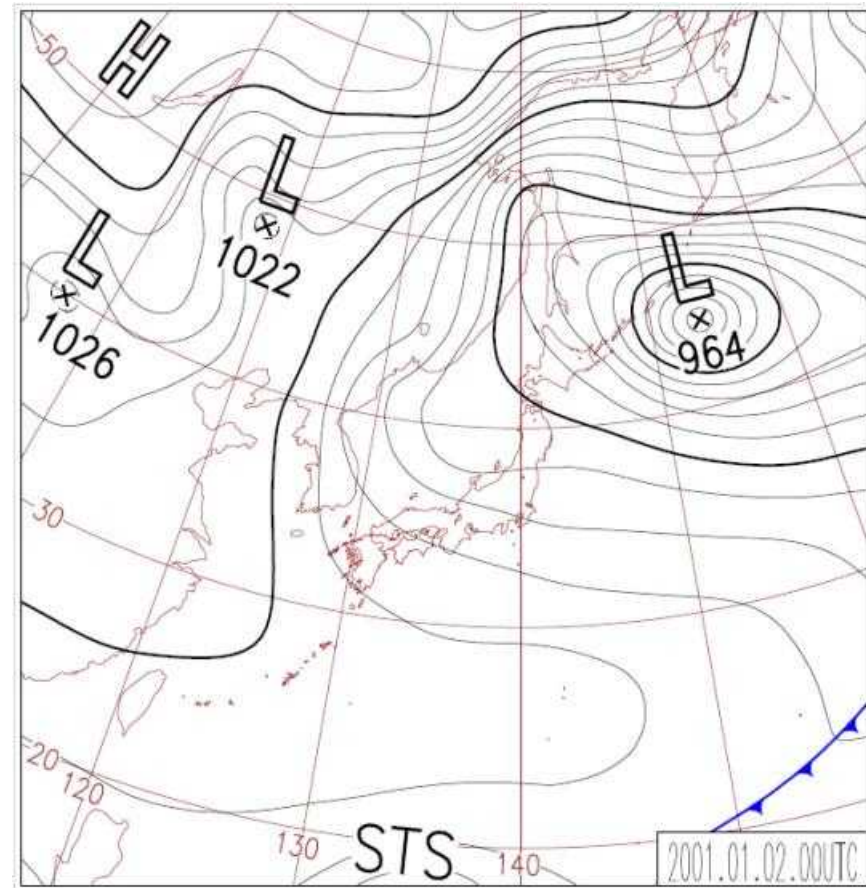


大雪にはパターンがあります

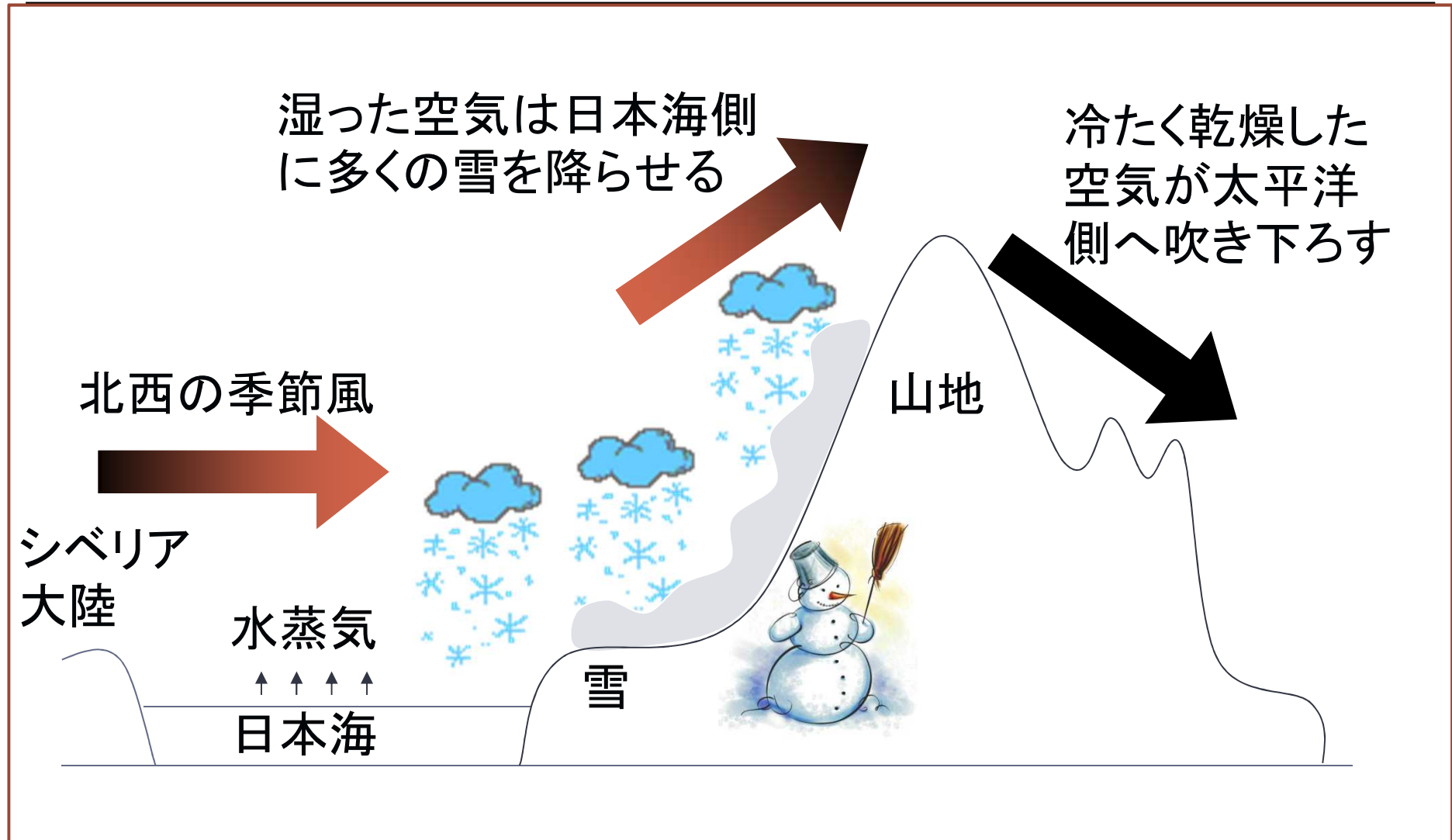
山雪型



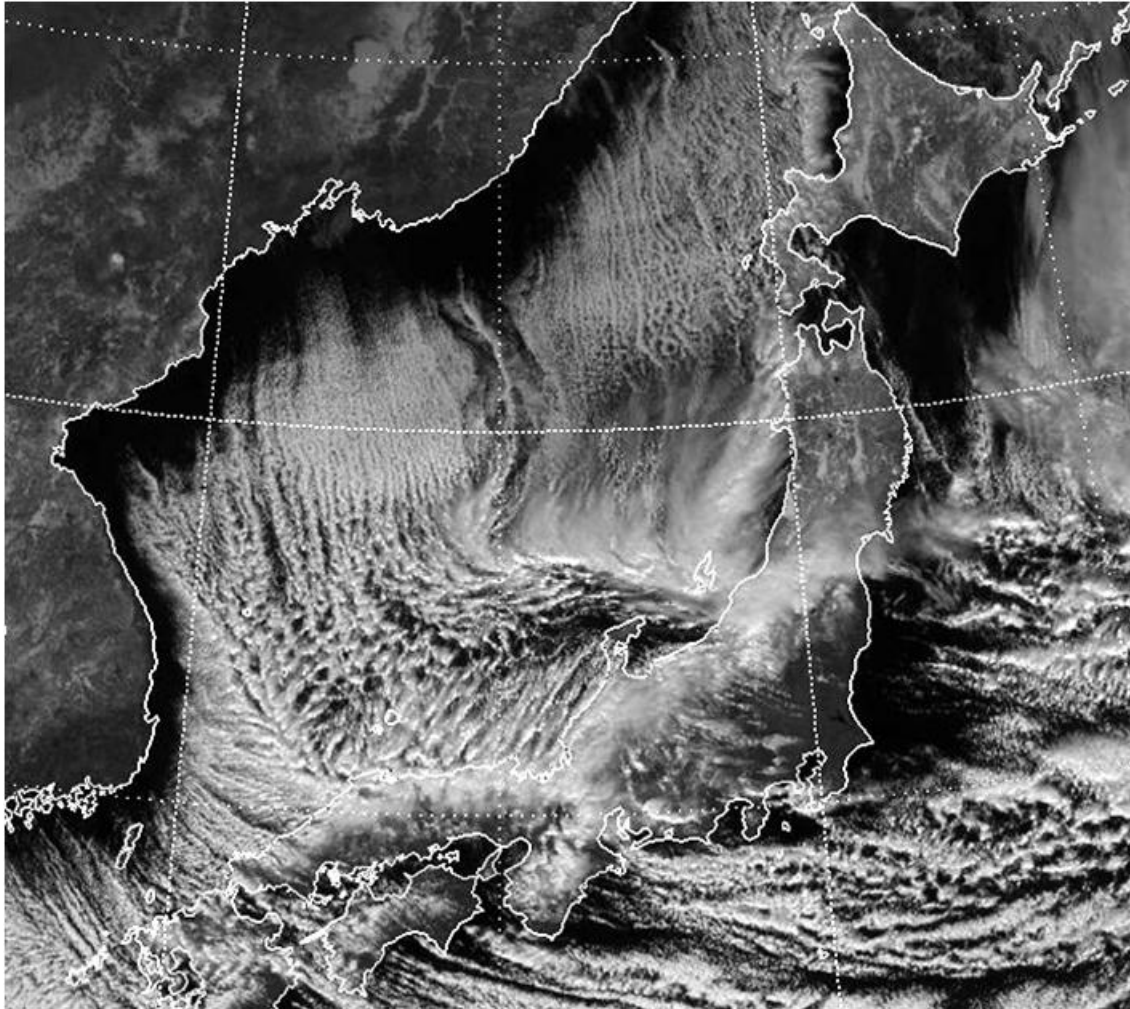
里雪型



日本海側に雪が降るしくみ



雪をふらせる雲のようす（気象衛星より）



気象衛星ひまわりが撮影した日本付近の雲の写真です。

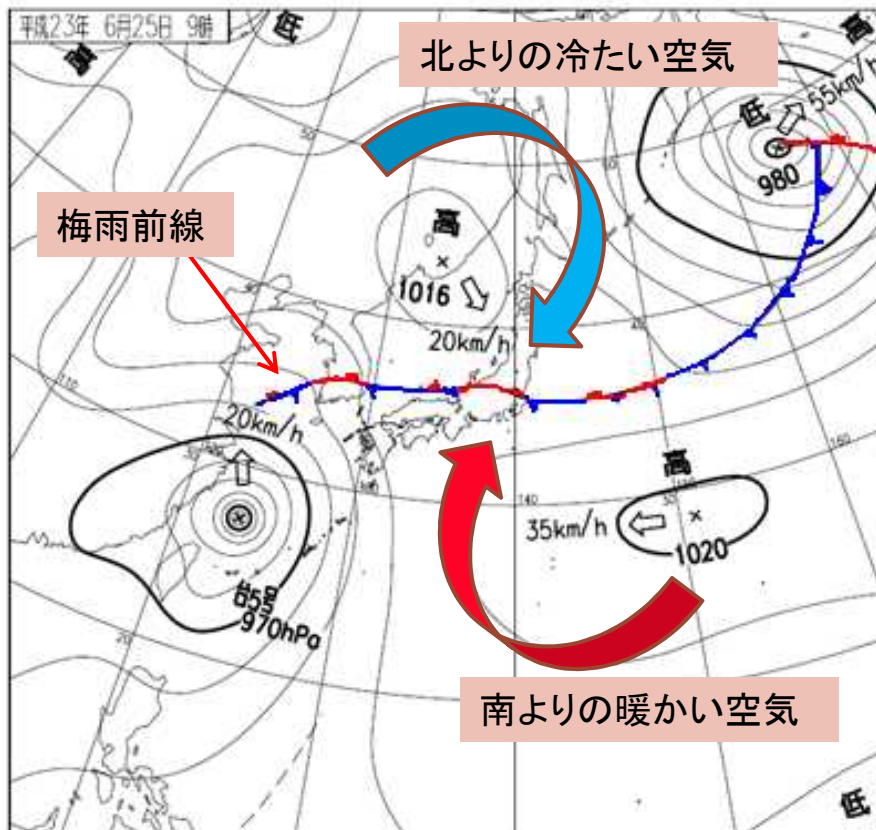
（白く写っているのが雲）

日本海に、雪を降らせる雲がたくさんあるのが分かります。

平成24年2月2日 12時の写真

梅雨（つゆ）

夏になる前に、曇りや雨の日が多くなる時期のこと



梅雨(ばいう)前線(ぜんせん)とは、気団と気団の境目

南よりの暖かい空気と、北寄りの冷たい空気がぶつかっているところ

梅雨前線のそばでは、雲が発生し大雨の元となる積乱雲も発生します。

台風（たいふう）とは

- 日本の南(みなみ)の、あたたかい海で生まれた低気圧を「熱帯低気圧（ねったいていきあつ）」と呼びます。
- 中心付近の最大風速がおよそ 17 m/s 以上になったものを「台風（たいふう）」と呼びます。

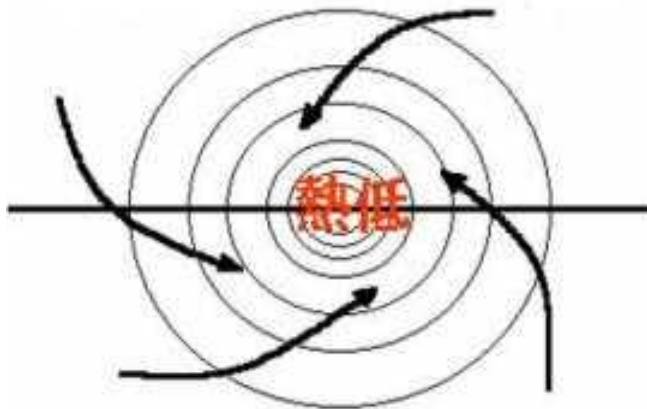


むずかしい？

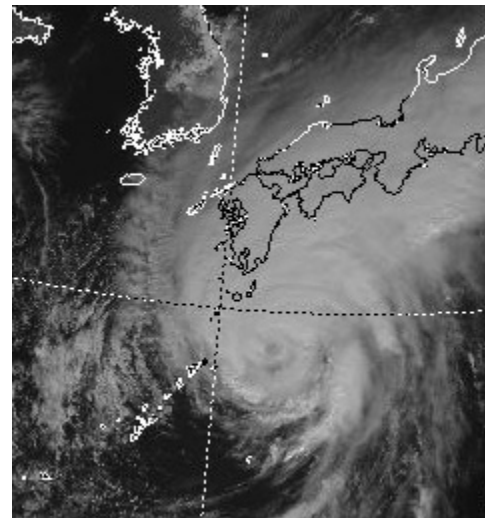


台風のとくちょう

- ・台風は大きな空気の渦巻(うずまき)で、中心に向かって時計と反対回りに**強い風**が吹きこんでいます。
- ・台風は、**ひじょうに発達した雨雲(積乱雲)**が渦を巻くように取り巻いているため、**広い範囲に大雨**を降らせます。



台風(低気圧)の風向き



気象衛星からみた台風の雲

大雨をもたらす原因とは？

積乱雲（せきらんうん）

雲（積雲）がモクモクと発達し、塔や山のように立ち上がった巨大な雲。入道雲と呼ばれることもある。短時間に狭い区域に多量の雨を降らせることもある



2010年8月19日 鳥取市から南方向に積乱雲
(鳥取市では晴れていますが、智頭町や八頭町では大雨)



2010年8月30日 鳥取市を覆う積乱雲
(西側には特徴的な雲があり、この下では突風により屋根が飛ぶなどの災害が発生)

(写真はいずれも気象台職員が撮影)

局地的な大雨について

キーワードは・・・

- ◆ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ◆ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

ひょう



これらは

発達した積乱雲（入道雲）

がせまっている兆し



局地的な大雨によって起こる災害

急速に発達した積乱雲（雷雲）によって短時間に非常に激しい雨が局地的に降ることにより、道路や低地が水に浸かったり、河川が急に増水したりします。楽しい水遊びの場や生活の場が、ときに命を奪う非常に危険な場へ一変することを知り、気象の変化への注意を心がけましょう。



平成20年7月28日、兵庫県神戸市灘区の都賀川が急激に増水し、河川内の親水公園で水遊びをしていた子どもたちなどが流され、その内5人が亡くなった。左写真は平常時、右写真は事故発生時の都賀川で、川の水位は10分間で約1m30cmも上昇。
(写真提供：神戸市ホームページ)

実際の映像



水位は10分間で
1m30cm上昇！！

神戸市ホームページより

まとめ

こんなときには
天気の急変に注意してください！

もし、このような場面にいたら・・・

- ・川などでの釣りや水遊び
- ・河原や川の中州でのキャンプ、バーベキュー
- ・沢登り、キャニオニング
- ・線路や高速道路下を交差してくぐる半地下道路
- ・河川や下水道内の工事現場



こんなときは要注意

- ・天気予報:「大気の状態が不安定」、「雷」、「天気の急変」などの表現があるとき
- ・警報や注意報: 雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき
- ・レーダーなどの観測情報(民間気象事業者の携帯電話サービスなどで入手): 周辺や上流で雨が降っているとき
- ・空の状態:「急に真っ黒な雲が近づいてきた」、「雷鳴が聞こえる」、「稲光が見えた」とき
- ・川の状態:「水かさが増えてきた」、「濁ってきた」、「流木や落ち葉が流れてきた」とき
- ・警報装置: サイレンの音が聞こえるとき
- ・看板、表示板:「危険区域には立ち入らない」、「雨の時には川から離れて下さい」、「通行止め」などの表示があるとき

異変を感じたら即、避難

